

第33回（平成30年度）
商業経済検定試験問題
〔経済活動と法〕

解答上の注意

1. この問題のページは2から16までです。
2. 解答はすべて別紙解答用紙に記入しなさい。
3. 問題用紙の表紙に受験番号を記入しなさい。
4. 文字または数字で記入するもの以外はすべて記号で答えなさい。
5. 選択問題Ⅰ〔会社に関する法〕・選択問題Ⅱ〔企業の責任と法〕は2分野のうち1分野を解答すること。2分野を解答した場合は、選択問題すべてを無効とします。
6. 計算用具や六法全書などの持ち込みはできません。
7. 制限時間は60分です。

※ 試験終了後、問題用紙も回収します。

① 次の文章を読み、問いに答えなさい。

私たちが社会と関わっていくなかで、日々の生活が平穏・円滑に秩序を保って営まれていくためには、(a)社会の誰もが守らなければならないルールが必要となる。これには、法・慣習・道徳・宗教上の戒律などがある。

法はさまざまな基準から分類することができ、そのなかで条文の形に書きあらわされた成文法と明確な条文の形に書きあらわされていない不文法に分類できる。このうち成文法は、制定する機関や法の適用範囲により、法律・命令・(b)条例・規則などの種類がある。例えば、2017年5月26日に「民法の一部を改正する法律」が国会において成立し、同年6月2日に(c)官報を通じて国民にその法律の内容が知らされた。今回は、民法の債権関係部分の見直しとして、国民一般にわかりやすいものとする観点から改正された。そして2020年4月1日に、この法律が適用されることになっている。

また不文法は、慣習法や判例法があり、複雑な現代社会の秩序を維持するために、成文法だけでは不十分なところを補う役割をもっている。

私たちが、法のもとに生活することは、社会がより豊かに発展するためにも大切であることを忘れてはならない。

問1. 下線部(a)を何というか、次のなかから適切なものを一つ選びなさい。

- ア. 社会秩序 イ. 社会規範 ウ. 行動理念

問2. 下線部(b)はどのような法か、次のなかから正しいものを一つ選びなさい。

- ア. 地方公共団体の長が制定する法
イ. 内閣総理大臣が制定する法
ウ. 地方公共団体の議会が制定する法

問3. 下線部(c)を何というか、次のなかから正しいものを一つ選びなさい。

- ア. 公布 イ. 施行 ウ. 遡及

② 次の文章を読み、問いに答えなさい。

高校生のAは、16歳の誕生日に以前より欲しいと思っていたローラースケートを父親に買ってもらった。さっそく休日に自宅近くの公園で練習しようと向かったところ、公園の入り口に「公園内でのスケートボード禁止」と書かれた看板に気が付いた。これは、公園内での禁止事項の一つとして、設置されているものであった。

Aは(a)この看板に書いてある文言のとおり「公園内でのスケートボードは禁止されているのだ」と解釈した。以前父親から法の解釈の有名な事例として「車馬通行禁止」の話をしてもらったことがある。法文の意味を広げて解釈する場合や、逆に狭くして解釈する場合があることなど、法にはさまざまな解釈があることについて教えてもらったことを思い出した。

(b)Aは、ローラースケートもスケートボードのように、転倒や衝突などの危険があるとして、公園内でのローラースケートも禁止ではないかと解釈し、自宅へ戻ることにした。

問1. 下線部(a)を法の解釈としてみた場合、何というか、漢字2文字を補って正しい用語を完成させなさい。

問2. 下線部(b)を論理解釈としてみた場合、どのように分類されるか、次のなかから最も適切なものを一つ選びなさい。

ア. 反対解釈 イ. 類推解釈 ウ. 縮小解釈

③ 次の文章を読み、問いに答えなさい。

社会生活において権利をもったり、義務を負ったりする者を権利・義務の主体といい、権利・義務の主体となることができる資格を権利能力という。

人はすべて、平等に権利能力をもっている。こうした私たち個人のことを、法律の上では自然人と呼ぶ。また自然人のほかに、(a)法律の定める一定の手続きをとって設立された企業や団体のように、法律によって権利・義務の主体として活動することを認められたものがある。

自然人は出生、つまりこの世に生を受けたときから権利能力が認められる。そして、私たちの社会生活が円満に営まれるためには、権利を有する者はその権利を正しく行使し、義務を負う者はその義務を誠実に果たさなければならない。民法では、権利の行使に特別な利益もないのに、相手方に損害を与えるためにだけなされるような、(b)正当な範囲を逸脱した権利の行使は禁止されている。

問1. 本文の主旨から、下線部(a)を何というか、漢字2文字で正しい用語を記入しなさい。

問2. 下線部(b)を何というか、次のなかから正しいものを一つ選びなさい。

ア. 権利の客体 イ. 権利の移転 ウ. 権利の濫用

④ 次の文章を読み、問いに答えなさい。

夫が外国へ行ったまま消息が絶えて行方不明になって、生死がはっきりしない場合、そのような状態を長く放置すると法律的に困ることがある。この場合、残された配偶者の再婚、行方不明者の所有する土地の売却などは、本人がいないため事実上不可能になる。この不確定な法律関係を整理するために失踪宣告の制度がある。

失踪宣告の制度には、(a)普通失踪の場合と特別失踪の場合がある。それぞれに定められた一定期間が経過したとき、(b)家族や利害関係人が裁判所に請求することで失踪宣告をしてもらい、失踪宣告を受けた人を死亡したものとみなして扱うことができる制度である。

なお、失踪宣告後に本人の生存が確認された場合は、申請によって裁判所が失踪宣告の取り消しを行う。

問 1. 下線部(a)の説明として、次のなかから正しいものを一つ選びなさい。

- ア. ある人の生死不明の状態が1年間続いたとき、利害関係人が裁判所に請求することにより、危難が去ったときに、その人は死亡したものとみなされる。
- イ. ある人の生死不明の状態が1年間続いたとき、利害関係人が裁判所に請求することにより、1年の期間満了のときに、その人は死亡したものとみなされる。
- ウ. ある人の生死不明の状態が7年間続いたとき、利害関係人が裁判所に請求することにより、7年の期間満了のときに、その人は死亡したものとみなされる。

問 2. 本文の主旨から、下線部(b)に記された裁判所はどこか、次のなかから正しいものを一つ選びなさい。

- ア. 家庭裁判所
- イ. 高等裁判所
- ウ. 地方裁判所

⑤ 次の文章を読み、問いに答えなさい。

物はいろいろな観点から分類され、その取り扱いが法律上で区別されている。例えば土地および土地に付着している物を不動産といい、不動産以外の物を動産という。また、物を指定して取引する場合に、その物を特定物といい、物の種類や数量を示して取引する場合、その物を不特定物という。

そして、物と物との間には、特別な関係がある場合がある。例えば腕時計のように、一方が他方の使いみちを常に助けるように付属している場合である。時計のように付属させている物を主物といい、それに対してバンドのように時計に付属させられている物を□□□□という。

また、ある物が他の物を生み出した場合に、生み出す側の物を(a)元物といい、生み出された側の物を果実という。果実は、元物から自然に生み出される(b)天然果実と、元物を他人に使用させてその対価として受け取る法定果実に分けられる。

問 1. 本文の主旨から、文中の□□□□に入るものは何か、漢字 2 文字で正しい用語を記入しなさい。

問 2. 下線部(a)と下線部(b)の関係を満たす組み合わせとして、次のなかから適切なものを一つ選びなさい。

- ア. (a)乳牛・(b)牛乳
- イ. (a)貸付金・(b)利息
- ウ. (a)土地・(b)地代

⑥ 次の文章を読み、問いに答えなさい。

商店で品物を買ったり、他人からお金を借りたりするのように、自分の意思に基づいて権利・義務を発生させる行為を法律行為という。なお(a)自分の行為の結果を正常に判断できる能力のない人が行った法律行為は無効となる。

民法は一般的に能力が不十分な人を定型化し、その人に保護者をつけて能力不足を補うとともに保護者を無視して行った被保護者の行為は、本人(被保護者)も保護者も取り消しができるものとして、財産を守ることにした。これが制限行為能力者制度で、制限行為能力者についての法定制度として、未成年者、(b)被補助人、被保佐人、成年被後見人の4種を定めている。

[事例]

Aは不動産業を営む会社に就職して3年が経ち、ようやく仕事に自信がついてきた。先月、会社の近くに住む一人暮らしの50歳代のBが来店して、Bの所有する土地の一部を売り渡したいとの相談があった。Bは、老後のためにも一日も早くその土地を売り渡したいと考えているとのことであった。

Bの所有している土地は、立地的に良い場所にあることから、会社としてもぜひ買い取りたい物件であった。何度かの話し合いのなかで、双方の納得いく価格で売買契約が結ばれた。

しかし、後日、Bが被補助人であることがわかり、調べてみると近隣に住むBの兄が補助人となっていた。Aは上司に報告したところ、この契約が補助人の同意を欠く場合は、取り消されることもあるので、(c)1か月以上の期間を定め、期間内にこの取引を認めるかどうか確答してもらうようBの兄に伝えるようにとアドバイスをもらった。Aは、さっそくBの兄に連絡をとることにしたが、(d)もし期間内に補助人であるBの兄からの確答がなかった場合は、この取引はどうなるのだろうかと思ひ、再度、上司に相談してみることにした。

問1. 下線部(a)を何というか、次のなかから正しいものを一つ選びなさい。

- ア. 権利能力 イ. 意思能力 ウ. 行為能力

問2. 下線部(b)に当てはまる人物として、次のなかから正しいものを一つ選びなさい。

- ア. 精神上の障がいで、判断能力を欠く常況にある人
イ. 精神上の障がいで、判断能力が著しく不十分な人
ウ. 軽度の精神上の障がいで、判断能力が不十分な人

問3. 下線部(c)のようなことを何というか、次のなかから正しいものを一つ選びなさい。

- ア. 勧告 イ. 催告 ウ. 詐術

問4. 本文の主旨から、下線部(d)の結論として、次のなかから適切なものを一つ選びなさい。

- ア. 制限行為能力者側は、この取引を認めたことになり、売買契約は成立する。
イ. 制限行為能力者側は、この取引を認めたことにならず、売買契約は成立しない。
ウ. 制限行為能力者側は、この取引を認めたことになるが、売買契約は成立しない。

7 次の文章を読み、問いに答えなさい。

私たちが生活するなかで、広く行使されている財産権の一つに所有権がある。土地を所有している人は、その土地を自分で自由に使用することもでき、他人に貸して賃料を得ることもできる。また、その土地を売却することもできる。

つまり所有権とは、法令の制限内で物を自由に使用し、収益し、処分するというように、どのような手段でも全面的に物を支配することのできる権利である。しかし、民法は相隣関係として、隣接する土地の所有権との間の利益の調整を図っている。例えば(a)他人の土地に囲まれていて、公道に通じていない土地の所有者は、公道に出るために、その土地を囲んでいるほかの土地を一定の制限のもと通行することができると規定している。このほかにも相隣関係として、民法第209条から第238条にさまざまな規定を設けている。

[事例]

Aは、自宅の庭の手入れが趣味で、庭の芝生をいつもきれいに刈っている。Aが庭の手入れをしていると、隣人Bの庭から木の枝と根がAの自宅との境界線を越えてきていることに気が付いた。

Aは、普段から家を留守にしていることが多いBとは、なかなか話をする機会がなかった。ようやく1か月後にBに事情を話すことができたが、その後のBの対応は何もなかった。

(b)Aは、境界線を越えた木の枝と根を切り取ることができるのか、民法の規定ではどうなっているのか、友人である弁護士に相談しながら考えることにした。

問1. 下線部(a)を何というか、次のなかから正しいものを一つ選びなさい。

- ア. 公地 イ. 囲繞地^{いじょうち} ウ. 袋地

問2. 本文の主旨から、下線部(b)の結論として、次のなかから適切なものを一つ選びなさい。

- ア. 木の枝はAが切り取ることができ、根はBに切り取らせることができる。
イ. 木の根はAが切り取ることができ、枝はBに切り取らせることができる。
ウ. 木の枝と根は、両方ともAが切り取ることができる。

⑧ 次の文章を読み、問いに答えなさい。

関東で洋菓子の製造販売を営むA社は、1972年に設立された会社である。シフォンケーキが人気で、試行錯誤しながら現在のシフォンケーキの商品Xというブランドを築き上げてきた。

A社の商品Xは、ふわふわな食感の生地が魅力のスイーツで、クリームをたっぷり包んでいるのが特徴である。年々売り上げも伸び、現在では一日に5,000個以上売れる人気商品となっている。A社は、会社設立時より(a)このシフォンケーキの商品につけるマークを国の機関に出願して、商標として登録していた。

一方B社は、2015年に設立された会社で、A社の商品Xを模倣した商品マークを使用して同様の価格でシフォンケーキの商品Yを販売していた。そのため、商品を混同し、間違っ購入してしまう消費者が多かった。

これに対してA社は、商品Xの(b)商標権を侵害されたとして、B社に対して商品マークの使用差し止めと損害賠償を求めて訴訟を起し、裁判所は、この請求を認める判決を下した。

産業財産権の一つとなっている商標権とは、自社の商品と他社の商品を区別するための文字・図形・記号・色彩などの結合体を独占的に使用できる権利である。ほかにも(c)特許権・実用新案権・意匠権があり、これらは産業上の無形の利益を対象とする権利であり法律によって保護されている。

今回の件で、商標は商品やサービスの顔として重要な役割を担っていることをA社は身をもって知ることができ、会社として長い年月をかけて、人気商品となったシフォンケーキの商品Xと会社の伝統を守ることができた。

問1. 下線部(a)に記された国の機関はどこか、次のなかから正しいものを一つ選びなさい。

- ア. 文化庁 イ. 消費者庁 ウ. 特許庁

問2. 下線部(b)の存続期間の内容として、次のなかから正しいものを一つ選びなさい。

- ア. 存続期間は10年で、更新することができる。
イ. 存続期間は20年で、更新することができない。
ウ. 存続期間は50年で、更新することができない。

問3. 下線部(c)の内容として、次のなかから適切なものを一つ選びなさい。

- ア. 商品の形状・構造または組み合わせを従来のものとかえることで、技術的効果がうまれてくる考案を独占的に使用できる権利のこと。
イ. 新しい機械や製品などの産業上の発明のことで、発明品の製造・販売など独占的に使用できる権利のこと。
ウ. 商品の形・模様・色やこれらの結合などについて、美感を起こさせる産業上の新しい考案を独占的に使用できる権利のこと。

㊦ 次の文章を読み、問いに答えなさい。

Aは、大学受験を控えている高校3年生である。大学では、マーケティングを専攻し、将来は文房具メーカーで商品開発をしたいという夢がある。そのため、私立のX大学への進学を希望している。ある日、Aの母親は(a)「もしX大学に合格できたら、Aが前から欲しいと言っていた腕時計を買ってあげる」と言って、Aに腕時計のプレゼントを約束した。

その後、Aは見事にX大学に合格し、4月から大学生として新生活をはじめることになった。X大学はAの自宅から通えないため、X大学の近くでアパートを探して一人暮らしをすることにした。

大学入学前の3月下旬、Aは母親とX大学の最寄り駅の不動産業者を訪れ、学生向けのアパートを紹介してもらった。不動産業者から新築の1DKのアパートを紹介され、さっそく、母親と見学することにした。見学をした結果、Aはその物件を気に入り、母親は不動産業者と契約を結んだ。不動産業者と結んだ契約は、(b)「アパートの一部屋を借り、毎月末に翌月の家賃として60,000円を口座引き落としで支払うという契約であった。」

Aは、一人暮らしをはじめると、さまざまな手続きが必要であることを知り、母親と一緒に調べてみた。すると、(c)「電気や水道、ガスの供給などの契約は、あらかじめ事業者が決めた定型的な契約内容に従って結ばれ、消費者や利用者などの契約の相手方は契約内容を交渉によって定めることはできないことを知った。」

4月になり、Aは一人暮らしをはじめた。慣れるまでは大変だと思っているが、母親からプレゼントされた腕時計を見て、念願だったX大学で頑張り、夢を実現しようと心に誓った。

問1. 下線部(a)のような条件を何というか、漢字2文字を補って正しい用語を完成させなさい。

問2. 下線部(b)のような貸借の契約を何というか、次のなかから正しいものを一つ選びなさい。

- ア. 使用貸借 イ. 消費貸借 ウ. 賃貸借

問3. 下線部(c)に記された契約を何というか、次のなかから正しいものを一つ選びなさい。

- ア. 付合契約 イ. 委任契約 ウ. 流質契約

10 次の文章を読み、問いに答えなさい。

Aは、東京郊外に500坪の土地を所有している。その土地の周辺は、これといった特徴もなく、栄えているわけでもない。その土地は、3年前にAが父親との(a)贈与契約によって取得したものであり、とくに手入れはしていない。

ある日Aは、不動産業者の営業と名乗るBから電話を受けた。AはBから「あなたの所有する土地の周辺は、今後、開発されて発展する見込みはありません。このまま所有し続けても、値上がりもせず、固定資産税がかかるだけです」と言われ、続けて「土地を当社に売った方がお得ですよ。手続きは簡単に済みます。売却代金もすぐにお支払いします」と言われた。

実は不動産業者のBは、Aの所有する土地が大規模開発の区域内にあり、近い将来、土地の価格が上がることを知っていた。そのため、BはAをだまして土地の売却を勧めた。(b)Aは、Bにだまされていることに気が付かずに、所有する土地のすべてを、不動産業者に安価で売却する意思表示を行い、売買契約を結んでしまった。

数年後、Aは売却した土地を訪れた。すると、売却した土地を含む辺り一帯は、大規模開発によって以前よりも発展していた。Aは不審に思ったので調べてみると、Bにだまされて契約を結んだことを知った。Aは、Bと不動産業者に抗議し、土地の返還を求めたが、すでに(c)その土地は、事情を知らないCに売却され、Cの名義で土地の登記がされていた。

Aは納得がいかなかった。そこで、(d)Aは、だまされて売却してしまった土地の返還をCに対して請求することができるかどうか、弁護士に相談することにした。

問1. 下線部(a)を契約の性質から分類した場合、どのような組み合わせになるか、次のなかから正しいものを一つ選びなさい。

- ア. 双務契約・無償契約・要物契約
- イ. 片務契約・無償契約・諾成契約
- ウ. 片務契約・有償契約・諾成契約

問2. 下線部(b)のような意思表示を何というか、次のなかから適切なものを一つ選びなさい。

- ア. 詐欺による意思表示
- イ. 錯誤による意思表示
- ウ. 強迫による意思表示

問3. 本文の主旨から、下線部(c)に記された登記を何というか、次のなかから適切なものを一つ選びなさい。

- ア. 保存登記
- イ. 移転登記
- ウ. 抹消登記

問4. 本文の主旨から、下線部(d)の結論として、次のなかから正しいものを一つ選びなさい。

- ア. AがBに対して行った意思表示は、真意とのくい違いを表意者自らが知っているため、善意の第三者Cに対して契約の取り消しを主張することができ、土地の返還を請求することができる。
- イ. AがBに対して行った意思表示は、表意者Aを保護するべきであり、善意の第三者Cに対して契約の取り消しを主張することができ、土地の返還を請求することができる。
- ウ. AがBに対して行った意思表示は、表意者Aを保護するべきであるが、善意の第三者Cに対して契約の取り消しを主張することができず、土地の返還を請求することはできない。

11 次の文章を読み、問いに答えなさい。

Aは、宅配ピザのX店でアルバイトをしている。Aは、その店でアルバイトをはじめてから2年になる。ある日、(a)Aが配達のためにX店のバイクを運転していると、Aの不注意でランニング中の会社員Bに接触し、怪我を負わせてしまった。Aは、すぐに救急車を呼び、Bは病院に搬送された。その後、警察官が来て事故処理の手続きをした。

Aは、X店に連絡し、経営者である店長とともにBが搬送された病院に駆けつけた。Bは、幸いにも軽い怪我ですんだようだが、しばらくは通院が必要とのことであった。Aと店長は、Bに対して誠心誠意、謝罪をした。するとBは、「私が確認もせずに飛び出してしまったことにも責任がありますので、(b)生命や身体、自由や名誉などを侵害されたことによる精神的な損害に対する賠償金は請求しません」と言ってくれた。しかし店長はBに、「今回の事故は、当店の従業員が配達中に起こしましたので、当店に責任があります。賠償金や治療費などについては、当社が加入している保険会社が対応しますので、よろしく願いいたします」と言った。

帰店後、店長はすぐに(c)自動車損害賠償責任保険(自賠責保険)と他の自動車保険の保険証券を確認し、保険会社に連絡した。店長はAに対して、「勤務中の事故のため、Bさんに対する補償は当社で行いますが、法律上はAが責任を負うこともあります。今後は十分に気をつけてください」と注意をした。Aは、今後は事故を起こさないように心に誓うとともに、(d)勤務中の事故について、法律上どのようになっているのか調べることにした。

問1. 下線部(a)のようなAの行為を何というか、次のなかから正しいものを一つ選びなさい。

- ア. 不法行為 イ. 詐害行為 ウ. 不作為

問2. 下線部(b)を何というか、次のなかから正しいものを一つ選びなさい。

- ア. 見舞金 イ. 慰謝料 ウ. 保証金

問3. 下線部(c)の説明として、次のなかから適切なものを一つ選びなさい。

- ア. 自動車を所有する者が、法律に基づき必ず加入しなければならない強制保険
イ. 自動車を所有する者が、自らの意思で任意に加入する任意保険
ウ. 他人が所有する自動車を運転する者が、自らの意思で任意に加入する任意保険

問4. 本文の主旨から、下線部(d)の結論として、次のなかから正しいものを一つ選びなさい。

- ア. X店の従業員であるAが勤務中に起こした事故のため、原則として従業員Aが損害賠償の責任を負い、従業員AにはX店に対する求償権は認められない。
イ. X店の従業員であるAが勤務中に起こした事故のため、原則としてX店が損害賠償の責任を負い、X店には従業員Aに対する求償権は認められない。
ウ. X店の従業員であるAが勤務中に起こした事故のため、原則としてX店が損害賠償の責任を負い、X店には従業員Aに対する求償権が認められる。

12 次の文章を読み、問いに答えなさい。

Aは、高校3年生である。高校卒業後は地元企業への就職が内定している。Aは、就職してから少しでも役に立つようと高校で資格取得に励んできた。ある日、Aは父親から(a)「卒業式が行われる3月9日が過ぎたら、海外旅行に連れて行ってあげる」と言われた。「就職すると、家族一緒に旅行に行くことは難しいから、ぜひ行こう」と言われ、家族で海外旅行に行くことになり、出発日は3月20日と決めた。

卒業式も無事に終わり、Aは、海外旅行に行くための準備をはじめた。父親と一緒に旅行会社との契約を結び、パスポートの申請をした。その後、旅行鞆^{かばん}を購入することにした。

Aと父親はいくつかの店舗で鞆を見くらべた結果、X店に気に入ったデザインの鞆の見本があったので、店員に聞いてみると「この鞆は数量限定品で、取り寄せになります」と言われた。Aは父親と相談し、X店で取り扱っているその鞆を購入することを決めた。Aと父親は店員にその鞆の取り寄せをお願いし、鞆を購入する契約を結び、代金はすべて現金で支払った。店員から、「入荷日は3月15日です」と言われた。

鞆の入荷前日である3月14日に、X店から父親に電話があり、「申し訳ありません。別の店員が納入日を間違えて発注してしまったようです。そのため、(b)明日の3月15日に鞆を引き渡すことができません。大至急取り寄せますが、次の入荷は3月22日になってしまいます。その日まで引き渡しを延期してもらえませんか」とお願いされた。

父親は、「旅行の出発日は3月20日なので、できれば、明日引き渡してください。もし明日、受け取ることができなければ、契約を解除したいと思います」と伝えた。

Aは、購入する予定の鞆が手に入らなかった場合のことを考えて、別の鞆店で違う鞆を探しておくことにした。再びX店から電話があったが、やはり鞆の入荷日は3月22日より早くならないとのことであった。父親はX店に売買契約の解除を申し出た。(c)Aはこの場合、契約の解除と代金の返金について、法律上どのようなになっているのか調べることにした。

問1. 下線部(a)を法律行為としてみた場合、効力が発生する事実はどのように分類されるか、次のなかから正しいものを一つ選びなさい。

- ア. 有効期限 イ. 確定期限 ウ. 不確定期限

問2. 下線部(b)のような債務不履行を何というか、次のなかから正しいものを一つ選びなさい。

- ア. 履行遅滞 イ. 履行不能 ウ. 不完全履行

問3. 本文の主旨から、下線部(c)の結論として、次のなかから適切なものを一つ選びなさい。

- ア. X店が鞆をすでに発注しているため、父親は契約を解除することはできないが、支払った代金の一部を返金してもらえる。
- イ. 3月22日まで待っていれば鞆を受け取ることができるため、父親は契約を解除することができず、支払った代金を返金してもらえない。
- ウ. X店の債務不履行により、父親は契約を解除することができ、契約がはじめからなかった状態にもどるため、支払った代金の全額を返金してもらえる。

13 次の文章を読み、問いに答えなさい。

Aは、土地を購入して一戸建住宅を建築しようと考えていた。不動産業者に相談したところ、不動産業者が所有する土地を紹介された。Aは、紹介された土地を訪れて確認した上で売買契約を結び、不動産業者に土地の代金を支払い、土地の名義をAの名義に変更した。

Aは、しばらくしてその土地を見に行ったところ、隣に住むBの土地の樹木が傾いていて、Aの土地に今にも倒れそうになっていることに気が付いた。(a)Aは、Bに対して「樹木が私の土地に倒れないように措置してください」とお願いした。するとBは、「わかりました。樹木が倒れないように対処します」と言ってくれた。

その後、Aは住宅の建築準備を進めようとしたが、Bは約束した樹木の対応をししてくれなかった。そのため、AはBに「樹木が倒れないように措置してください」と再度お願いした。その後、Bの土地の樹木がAの土地に倒れてしまった。

再三お願いしたにも関わらず、Bは何もしてくれなかった。そのため、Aは弁護士に相談することにした。すると弁護士は、(b)「Aさんと私の間の取り決めによって代理権の授受を行い、私がAさんの代理人となり、Bさんに対して樹木を撤去する請求手続きを行います」と言ってくれた。Aは、弁護士と契約を結び、(c)委任状を作成して着手金を支払った。

その後、弁護士から連絡があり「裁判所がBさんに樹木の撤去を命ずる判決を出しました」と言われ、続けて、「判決が出ているにもかかわらず、Bさんが樹木を撤去しない場合には、(d)Bさんの代わりに、樹木を撤去してくれる業者を探して、樹木を撤去させ、かかった費用のすべてをBさんに負担させることを裁判所に相談することもできます」と言ってくれた。

しばらくして、Bは倒れた樹木を撤去してくれた。BはAに「申し訳ありません。時間の都合と費用の折り合いがつかずに、撤去が遅れてしまいました」と謝罪した。AはBの隣に住むことになることから、今後の付き合いを考えて、Bとの関係も修復していきたいと思っている。

問1. 下線部(a)のような物権的請求権を何というか、次のなかから正しいものを一つ選びなさい。

- ア. 返還請求権 イ. 妨害排除請求権 ウ. 妨害予防請求権

問2. 下線部(b)に記された代理人を何というか、次のなかから正しいものを一つ選びなさい。

- ア. 法定代理人 イ. 任意代理人 ウ. 復代理人

問3. 本文の主旨から、下線部(c)の説明として、次のなかから適切なものを一つ選びなさい。

- ア. 他人に依頼されて自己の名義の使用を認めたことを証明する書類のこと
イ. 他人に法律関係の処理を任せる代理権を与えたことを証明する書類のこと
ウ. 請負人が一定の仕事を完成させることを約束する契約書のこと

問4. 下線部(d)のような強制執行を何というか、次のなかから正しいものを一つ選びなさい。

- ア. 代替執行 イ. 直接強制 ウ. 間接強制

14 次の文章を読み、問いに答えなさい。

Aは、現在、賃貸マンションで妻と暮らしている。半年後には子どもが生まれる予定のため、一戸建住宅を購入することを決意した。Aは、通勤に便利な駅を探し、その駅前の不動産業者を訪ねた。駅から近い物件という希望を伝えたところ、不動産業者から中古の一戸建住宅を紹介された。

不動産業者から紹介された物件は、リフォーム済みで、駅から近く、間取りも希望通りという好条件であった。Aは見学をした結果、紹介された中古の一戸建住宅を購入することにした。

Aは、不動産業者に売買代金の20%を手付として現金で支払い、売買契約を締結した。Aは売買代金が高額になることから、念のため(a)Aまたは不動産業者が、売買契約を解除する場合について調べておくことにした。

Aは、売買代金の残額を給与の振込口座がある銀行で借り入れることにしていた。Aは、銀行の融資担当者から(b)「Aさんの土地と建物に対して担保物権を設定します。これは、もしAさんが住宅ローンを返済できない場合に、土地と建物を競売にかけて、その売却代金から当行が優先して弁済を受けることができる権利のことです」と言われた。Aは、そのようなことにならないように、これからも一生懸命に働き、マイホームを大切にしようと思った。

購入した住宅に引っ越してから1か月後、Aが掃除をしていると白アリがいることに気が付いた。調べてみると、床下に白アリが住みついており、土台の一部が被害にあっていた。(c)Aはこの場合、どのような対応をとることができるのか、法律に詳しい知人に相談し、民法を調べることにした。

その後、不動産業者はすぐに白アリと土台の確認を行い、売り主としての瑕疵担保責任を認め、白アリの駆除を行い、土台も元通りに直した。Aは不動産業者の素早い対応に感心するとともに、よりいっそうマイホームを大切にしようと思った。

問1. 本文の主旨から、下線部(a)の説明として、次のなかから適切なものを一つ選びなさい。

- ア. 契約の履行に着手する前であれば、Aが支払った手付を放棄するか、不動産業者が受け取った手付の倍額をAに返還すれば、契約を解除することができる。
- イ. 契約の履行に着手する前であれば、Aが支払った手付の倍額をさらに支払うか、不動産業者が受け取った手付をAに返還すれば、契約を解除することができる。
- ウ. 契約の履行に着手する前であれば、Aが支払った手付を放棄するか、不動産業者が受け取った手付をAに返還すれば、契約を解除することができる。

問2. 下線部(b)に記された担保物権を何というか、漢字2文字を補って正しい用語を完成させなさい。

問3. 本文の主旨から、下線部(c)の結論として、次のなかから適切なものを一つ選びなさい。

- ア. 瑕疵を知ってから1年以内であれば、損害賠償の請求と契約の解除ができる。
- イ. 住宅に住みはじめてから1年以内であれば、損害賠償の請求と契約の解除ができる。
- ウ. 売買契約を結んでから1年以内であれば、損害賠償の請求と契約の解除ができる。

15 次の文章を読み、問いに答えなさい。

Aは、長年勤めた会社を辞めて、自宅を改築して飲食店をはじめることにした。しかし、資金が不足しているため、資産家の友人Xから1年後に返済する約束で300万円借り入れることにした。Xは、Aが返済できない時のことを考えて、人的担保をつけることを貸し付けの条件とした。

そこでAは、友人Bに(a)主たる債務者と連帯して債務の履行を保証することについて説明し、Bに人的担保を引き受けて欲しいと依頼した。Bは、あまり乗り気ではなかったが、Aが懇願するため、仕方なく承諾し、書類に署名捺印した。

それから1年経ったある日、BのもとにXが現れた。XはBに「Aからの返済がありません。Aを探しましたが、見つかりません。そのため、Aに請求せずにBさんに請求しに来ました。Aの代わりにBさんが債務を返済してください」と言った。さらにXは貸し付けた際の契約書をBに渡し、「Bさんには、(b)債権者である私に対して、まずは、主たる債務者であるAに請求するよう主張する権利はありません。すみやかに300万円の貸付金と利息相当額を支払ってください」と言った。

さらにXは、Bに「(c)債権者である私は、300万円の債権を一方的に放棄して、債務を消滅させることはいたしません」と言った。BはXの説明を聞いて納得し、あらためて契約書を確認した。Bは、責任を感じ、Xに対する返済について考えることにした。

Bは、返済について検討した結果、(d)300万円の金銭の代わりとして、自己が所有する自動車を引き渡して債務を消滅させる弁済をXに提案した。そして、Xに自動車を見せて確認してもらった。Xは、この自動車であれば300万円の貸付金と利息相当になると計算して、Bの提案を受け入れることにした。

Bは、Aと連絡が取れたら、Xに弁済した額の返還を請求したいと考えていたところ、BのもとにAが現れた。Aは、「経営がうまくいかず、何もかもが嫌になって逃げてしまいました。今後、しっかりと働いて返済します。どうか許してください」とBに謝罪した。Bは、長年の付き合いであることと、Aの今後を期待して、Aの謝罪を受け入れることにした。

問1. 下線部(a)を何というか、次のなかから適切なものを一つ選びなさい。

- ア. 連帯債務 イ. 保証債務 ウ. 連帯保証債務

問2. 下線部(b)のような権利を何というか、次のなかから正しいものを一つ選びなさい。

- ア. 債権者代位権 イ. 催告の抗弁権 ウ. 検索の抗弁権

問3. 下線部(c)のようなことを何というか、次のなかから正しいものを一つ選びなさい。

- ア. 相殺 イ. 供託 ウ. 免除

問4. 下線部(d)のような弁済を何というか、漢字2文字を補って正しい用語を完成させなさい。

選択問題 I 〔会社に関する法〕

① 次の文章を読み、問いに答えなさい。

X社はZ銀行と当座勘定取引契約を結んでおり、当座預金口座を開設している。X社は、仕入先であるY社から500万円分の商品を仕入れ、代金は小切手を振り出して支払った。

なお、(a)国内で利用される小切手の支払呈示期間は、小切手法で定められている。X社は代金の支払いとして、通常は一般の小切手を支払手段としている。また一般の小切手とは別に(b)実際に振り出された日よりも将来の日を振出日として記載された小切手を利用する場合もある。

また、小切手には、小切手文句や小切手金額など(c)小切手法で必ず記載しなければならないとされる事項を記載する必要がある。

問1. 下線部(a)について、次のなかから適切なものを一つ選びなさい。

- ア. 振り出しの日付の翌日から7日間である。
- イ. 振り出しの日付の翌日から10日間である。
- ウ. 振り出しの日付の翌日から14日間である。

問2. 下線部(b)を何というか、漢字3文字を補って正しい用語を完成させなさい。

問3. 下線部(c)を何というか、次のなかから正しいものを一つ選びなさい。

- ア. 必要的記載事項
- イ. 有益的記載事項
- ウ. 有害的記載事項

② 次の文章を読み、問いに答えなさい。

数年前に定年を迎えたAは、退職金の一部でいくつかの会社の株式を購入した。その株式で配当金を得たり、株主優待でもらった外食チェーン店の食事券で食事をしたり、家電販売店の買い物優待券で電化製品を購入したり、株主として与えられる特権を十分に活用していた。

6月の中旬にAのもとにX社の株主総会の通知が届いた。株主総会には、(a)毎事業年度の終了後の一定の時期に招集される定時株主総会と臨時株主総会がある。Aが株主総会について詳しく調べてみると、会社の意思決定を行う必置の機関で、(b)公開会社のように取締役会が設置されている会社における株主総会の決議事項は、会社法に定められた事項および定款で定められた事項に制限されることがわかった。今回、AははじめてX社の株主総会に出席することにした。

問1. 下線部(a)に示された一定の時期について、次のなかから正しいものを一つ選びなさい。

- ア. 1か月以内
- イ. 3か月以内
- ウ. 6か月以内

問2. 下線部(b)の説明として、次のなかから適切なものを一つ選びなさい。

- ア. 少なくとも一つの種類の株式について譲渡制限をつけていない会社
- イ. すべての種類の株式について譲渡制限をつけている会社
- ウ. 資本金の額が5億円以上または負債の額が200億円以上の会社

選択問題Ⅱ〔企業の責任と法〕

① 次の文章を読み、問いに答えなさい。

X社に入社したAは、4月に新入社員研修を受けた。研修では、人事部の研修担当者から、社会人としての自覚をもって業務を行うようにと言われた。また、一人ひとりが(a)X社の一員として、法令を遵守し、社会全体への影響を考慮して行動することが大切であると教えられた。さらに、常日頃から(b)アカウンタビリティを意識し、襟を正して実際の業務を遂行するようにと指導された。

Aは、研修後に念願であった営業第2部に配属された。Aは、立派な社会人になるとともに、X社の一員として、法令を意識して業務にあたろうと心に誓った。

問1. 下線部(a)を何というか、次のなかから正しいものを一つ選びなさい。

- ア. インサイダー取引 イ. コンプライアンス ウ. マネーロンダリング

問2. 下線部(b)の説明として、次のなかから適切なものを一つ選びなさい。

- ア. 従業員が企業の不法行為の事実を通報することによって、企業の不正を発見すること
イ. 労働者が使用者の指図によって働き、使用者がそれに対して賃金を支払うこと
ウ. 違法活動や不祥事の原因、事件の経緯や事実関係などの情報を公表する責任のこと

② 次の文章を読み、問いに答えなさい。

社会生活では、金銭の貸借や契約上のトラブルなどを理由とする紛争が生じることがある。ここでは、紛争の予防と紛争が生じた場合の解決について考えてみたい。

紛争を防ぐために、重要な契約・行為などの場合には、(a)公証人によって厳格な手続きに従って作成され、真正に成立した公文書と推定される書類を作成する方法がある。この書類は強い証明力をもつので、その書類の記載について、ほとんど争うことはできない。

万が一紛争に巻き込まれた場合、裁判所に訴えて解決を図ることもあるが、訴えによらない方法もある。その一つに、(b)当事者が互いに譲歩し紛争の解決を図ることがある。解決ができず裁判になった場合、(c)訴訟において訴えを起こす者と訴えを起こされた相手の当事者間だけでは解決が難しいため、法律の専門家である弁護士に依頼することが一般的である。紛争に巻き込まれないことが大切だが、万が一巻き込まれても困らないように、法律を学んでおくことは必要である。

問1. 下線部(a)を何というか、漢字4文字で正しい用語を記入しなさい。

問2. 下線部(b)を何というか、次のなかから正しいものを一つ選びなさい。

- ア. 和解 イ. 鑑定 ウ. 書証

問3. 下線部(c)を何というか、次のなかから正しいものを一つ選びなさい。

- ア. 被告 イ. 原告 ウ. 上告

第33回商業経済検定試験
経済活動と法解答用紙

	問 1	問 2	問 3
1			

	問 1		問 2
2		解釈	

	問 1	問 2
3		

得 点

--

	問 1	問 2
4		

	問 1	問 2
5		

	問 1	問 2	問 3	問 4
6				

--

	問 1	問 2
7		

	問 1	問 2	問 3
8			

	問 1		問 2	問 3
9		条件		

--

	問 1	問 2	問 3	問 4
10				

	問 1	問 2	問 3	問 4
11				

--

	問 1	問 2	問 3
12			

	問 1	問 2	問 3	問 4
13				

--

	問 1	問 2		問 3
14			権	

	問 1	問 2	問 3	問 4	
15					弁済

--

注：選択問題 　　いずれか1分野を解答すること。2分野を解答した場合は、選択問題すべてを無効とします。

選択問題Ⅰ〔会社に関する法〕

	問 1	問 2		問 3
1			小切手	

	問 1	問 2
2		

--

選択問題Ⅱ〔企業の責任と法〕

	問 1	問 2
1		

	問 1		問 2	問 3
2				

受験場校		受験番号	
------	--	------	--

総得点	
-----	--

経済活動と法模範解答

(各2点)

秘

得点

	問1	問2	問3
1	イ	ウ	ア

	問1		問2
2	文	理	解釈 イ

	問1	問2
3	法	人 ウ

14

	問1	問2
4	ウ	ア

	問1	問2
5	従	物 ア

	問1	問2	問3	問4
6	イ	ウ	イ	ア

16

	問1	問2
7	ウ	イ

	問1	問2	問3
8	ウ	ア	イ

	問1		問2	問3
9	停	止	条件	ウ ア

16

	問1	問2	問3	問4
10	イ	ア	イ	ウ

	問1	問2	問3	問4
11	ア	イ	ア	ウ

16

	問1	問2	問3
12	イ	ア	ウ

	問1	問2	問3	問4
13	ウ	イ	イ	ア

14

	問1	問2		問3
14	ア	抵	当	権 ア

	問1	問2	問3	問4	
15	ウ	イ	ウ	代	物 弁済

14

選択問題 I [会社に関する法]

	問1	問2		問3
1	イ	先	日 付	小切手 ア

	問1	問2
2	イ	ア

10

選択問題 II [企業の責任と法]

	問1	問2
1	イ	ウ

	問1		問2	問3
2	公	正	証 書	ア イ

選択問題 I [会社に関する法]・選択問題 II [企業の責任と法]の2分野を解答した場合は、
選択問題を0点としてください。

総
得
点

100